

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書

(実施対象：4・5歳児クラス)

モニカ荏原中延園

M  nica

テーマ

水

設定理由

- 水を好み、遊びに取り入れている子どもが多かったため。
- 散歩の際、池や川を見ると「気持ちよさそう」「触ってみたい」と興味を示子したり、「どこから流れてくるのかな?」「キレイなのかな?」と疑問をもったりする姿が見られているため。
- 徒歩圏内の公園に、滝、川、噴水があり、実際に触れることができる。

対象クラス

4・5歳児クラス 21名

活動のねらい

身近にある水に親しみ、水の可能性を知る。

問 い

「水ってどうなっていくのかな?」

活動期間

令和7年4月～7月

活動回数

計10回

活動①

水の観察(4/14.24)

活動内容

滝・川・池・噴水のある公園へ行き、それぞれの水を観察する。実際に触れてみることで、水の流れや性質の違いに気付く。

活動②

水を描く(4/28.29.30)

活動内容

公園で見たものの写真を見ながら、自分でも思い出し、イメージする「水」を自由に描く。

活動③

水の流れを観察する(5/15.16.19)

活動内容

拾った自然物をタライに入れ、水の流れによる自然物の流れを観察する。

活動④

水に触れ、流れを作る(6/17.7/18)

活動内容

牛乳パックや水路遊び用具を使い、自分たちで水の流れを作る。その中で水に強い素材を知ったり、水が流れる仕組みに気付いたりする。

活動⑤

水の可能性について考え、知る(5月～7月)

活動内容

「水」がテーマの絵本を何冊か用意し、自分たちで「水」について考えられる時間を設ける。

水の流れ



身近な“水”に興味を持っている子どもたちです。
タライに水を貯め、川や噴水との水の違いを考えました。

「水が動いてないよ。」
「葉っぱを入れても、
持っていけない（流れていかない）。」
「水の大きさ（量）も違うね。」



もう1つのタライにホースで水を入れると・・・

「あ！こっちの方が面白そう。」
「みてみて、葉っぱが動いてる。」
「ホースの近くだと、速く流れるよ。」
「ほんとだ。流れる勢いがあるね。」
「手を離すとグルグルまわっちゃう。」



ホースを止め、水の流れが止まると、
今度は自分たちで水の流れを作ろうとする
姿が見られました。

「手で水を動かしてみる。」
「グルグルってしたら、さっきみたいになるよ。」
「みんなで同じ向きにやってみようよ。」



「横とか斜めもやってみる。」
「端っこの方で動かしても面白いよ。」
「四角を描くとどうなる？」
「三角もやってみよう！」

いろいろな方向に水を動かして
流れを作り、面白がっていました。

お部屋に川を！

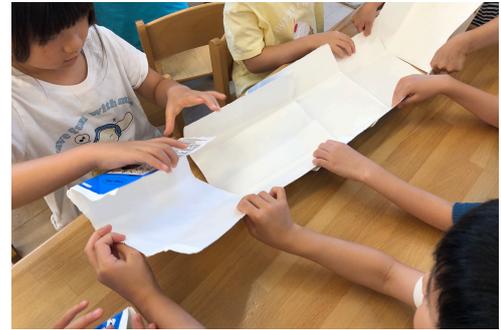
—4グループに分かれて作戦会議中—



「端っこを丸くしてみる？」
「これなら水漏れなさそう！」



「丸くしてみる？」
「水が外に出ないかも！」



「ちょっと斜めにしたら勢いよく
流れるんじゃない？」
「そっち持ってて！」

—作ってみる—



「どこからスタートしよう」
「ここから流すのはどうかな？」



「ここにテープを貼ろう！」
「ここおさえとくね！」



「川の形になってきた！」

—流してみる—



「水が流れてタライの水が増えてく！」



「最初はゆっくり流してみよう！」

「水が漏れた！」
「どこに穴があいてるのかな」

グループごと意見を出し合いながら川の形を考え、実際に川を作って水を流した子どもたち。水を流しながら、こうしたらよかったと考える姿もありました。次回はどんな工夫や話し合いがみられるか楽しみです。

使用物

水に関する絵本 | タライ | 自然物(葉、木の実、枝等) | 牛乳パック | 養生テープ
水路遊び用具 | ジョウロ | ホワイトシート | 画用紙 | 絵の具

テーマ：水

全体の振り返り

- 活動を重ねるごとに子どもたちの水への興味関心が高まっていたように感じた。
- 水の流れの観察を進める中で室内に川を作りたいという声があがった為、子どもたちと話し合い牛乳パックを使用した川作りを行った。初めは、水漏れや水の勢いが弱い等、思ったように水を流すことが難しかったが、グループ内で意見を出し合いながら土台を作り、水に色をつけ川作りを終えることができた。



終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ荏原中延園

〒142-0052
東京都品川区東中延1-6-2
TEL:03-6421-6740
FAX:03-6421-6741